

2024年
11月1日発行
207号

江差町
江差
えさし

議会だより

第43回 江差町産業まつり



12月 3月
定例会
9月 6月

みんなで揃って決まったゾ!

☆江差町産業まつりで、かもめ・水堀保育園遊戯披露

9月11日

第3回定例会開催

議会配信

令和6年第3回定例会より
議会YouTube配信
始まる

15ページ

一般質問

- ・飯田 隆一 議員 5ページ
洋上風力関連企業・施設の誘致を
- ・室井 正行 議員 6ページ
茂尻川陣屋川の悪臭改善の検討を
- ・塚本 眞 議員 7ページ
町のカスハラの実態や対応策は
- ・出崎 太郎 議員 8ページ
拠点施設2階屋上へ避難場所設置を
- ・小梅 洋子 議員 9ページ
道南サミット江差研修会の成果は
- ・西海谷 望 議員 10ページ
ふるさと納税寄附金増額の検討は
- ・増永 一彦 議員 11ページ
拠点施設中止の考えは
- ・大門 和幸 議員 7ページ
庁舎内エアコン設置の検討を
- ・小野寺 真 議員 12ページ
主要避難所以外の避難・備品体制を

補正予算可決

保育園統合に係る増改築
改修実施設計業務委託等
計1億6,050万2千円

2ページ

9月定例会 こんなことが決まりました！

保育園統合に係る増改築改修実施設計業務委託等
計1億6,050万2千円を補正

9月11日に開催された第3回定例会において、補正予算を含む議案等が審議され、全て原案のとおり可決された。

補正予算

一般事業

◎一般会計

◇江差町DX推進業務

155万3千円(全額一般財源)

町としての「DX推進の全体方針」の策定にあたり、外部へアドバイザー業務を委託するもの。

※DXとは...

「デジタル・トランスフォーメーション」の略で地方自治体でデジタル技術を活用し、「住民の利便性向上」「業務効率の改善」「データ連携で新たな価値の創出」などを目指す取組みを言います。

◇ふるさと応援寄付金対策

4,477万3千円(その他特定財源他)

今後の返礼品や広告費、業務委託費等を措置すると共に、増収見込分を基金に積み立てるもの。

◇令和5年度障害者自立支援給付費道費負担金返還

57万2千円(全額一般財源)

◇令和6年度権利擁護事業(人材養成研修事業)

20万円(全額道支出金)

本人に代わり財産管理等の支援を行う「市民後見人」を養成する講座の開催経費を措置するもの。

◇児童手当支給

1,241万円(国庫支出金他)

「こども未来戦略」に基づき、本年10月分から「受給者の所得制限撤廃」、「支給期間を高校生年代まで延長」、「第3子以降一人当たり月3万円に大幅増額」など、児童手当の抜本的拡充の開始に伴うもの。

◇北部地域町立保育園統合に係る増改築改修実施設計業務委託

691万9千円(全額一般財源)

日明・水堀保育園の2園を統合し、現在の道立江差病院 院内保育所を新たな北部地域町立保育所として開設するために必要な、増改築に係る実施設計業務を発注するもの。

保育園統合までのスケジュール予定

【令和6年度】

9～10月 設計の発注(増改築工事費の積算)

【令和7年度】

院内保育所の園児を日明保育園で合同保育
増改築工事の施工

【令和8年度】

統合後の新保育園開設

◇新型コロナウイルス予防接種支援事業

1,627万5千円(国庫支出金他)

65歳以上の方及び60歳から64歳の基礎疾患を有する方を対象に、接種費用の半額3,500円を町が助成する。

◇江差町再生可能エネルギー等活用基金積立

160万円(全額その他特定財源)

再生可能エネルギーの普及啓発、活用促進を図り、脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを進めるもの。

◇森林整備地域活動支援交付金事業

110万円(全額道支出金)

小規模・分散している森林を集約化して、効率的な林業生産活動につなげるもの。

◇豊かな前浜づくりプロジェクト

1,333万8千円(その他特定財源他)

トラウトサーモン養殖事業に対する補助。

◇水産物供給基盤機能保全事業

66万7千円(全額一般財源)

第1種江差追分漁港 泊地区の老朽化修復に向けた実施設計費用について、地元負担金として支出。

◇町道除雪対策

5,991万6千円(全額一般財源)

◇朝日町民体育館ストーブ取替工事

117万9千円(全額一般財源)

体育館に設置されている全4台のストーブのうち1台を更新。

◎介護保険特別会計

◇令和5年度介護保険料給付費負担金等精算に伴う返還金

4,896万6千円(全額一般財源)

令和5年度の公費負担額を精算した結果、受領済額を精算額が下回ったことから、国・北海道・社会保険診療報酬支払基金に対し返還するもの。

9月定例会 こんなことが決まりました！

その他

◎条例改正

◇江差町再生可能エネルギー等活用基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

再生可能エネルギーを活用し、利用促進を図ることで持続可能な脱炭素社会の実現に向けたまちづくりに寄与するため、江差町再生可能エネルギー等活用基金を設置する条例を制定するもの。

◇江差町再生可能エネルギー事業の推進と地域との共生に関する条例の一部改正

太陽光発電ゾーニングマップにおいて、地理情報システム解析処理作業時に不適エリア、調整エリア、促進エリアの抽出に誤りがあり、面積及び割合を修正することに伴い条例を改正するもの。

◇江差町いじめ問題調査等委員会条例の制定

町内小・中学校における児童生徒のいじめに関する重大事態発生の際に、当該事案に関する問題解決に向けた調査及び検証を行うための委員会を設置するため条例を制定するもの。

◎基金処分

◇江差町財政調整基金の処分

・令和6年度江差町一般会計の財源不足を補てんするため、令和6年度中に財政調整基金を処分する。

○処分する額 5千万円

◎報告

◇健全化判断比率等の報告

・実質交際比率 12.3%

前年度に比べ0.7ポイント改善しており、早期健全化基準である25.0%を下回っている。

・将来負担比率 44.8%

前年度に比べ5.6ポイント上昇しているが、早期健全化基準である350.0%を下回っている。

◎決算認定

令和5年度一般会計歳入歳出決算ほか8会計については、閉会後に開催される「各会計決算審査特別委員会」に付託する。

◎工事請負契約の締結（5千万円以上の工事）

◇令和5年度町道陣屋榎川線第3榎川橋架換工事（設計変更による工事費の増額）

〔契約相手方〕 前田組・宏栄建設経常建設共同企業体

〔変更後金額〕 1億7,008万2千円

◇かもめ島中央階段遊歩道保全対策工事

〔契約相手方〕 田畑・宏栄経常建設共同企業体

〔契約の金額〕 6,990万円

◎その他

◇和解及び損害賠償額の決定の専決処分について

公園管理人が草刈作業中、飛散防護ネットを飛び越えた小石により、窓ガラスを損傷させたもの。



かもめ島中央階段遊歩道法面

人事

◇教育委員会委員の任命（再任）

かざわ ゆかこ
加澤 優香子 氏



意見書を提出

9月定例会では1件の意見書を提出し可決、関係行政機関へ送付しました。

《可決》
◇国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

第3回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

1 地域還元金の受領について

町とサツドラホールディングス株式会社様の包括連携協定事業の一環として、サツドラ店舗でお買い物をした購入額の一定率を、地域還元金として江差町へご寄附いただくこととなっており、去る8月10日に、同社様より100万1,059円の贈呈があった。

贈呈された還元金は、前回と同様に地域経済活動の循環に再び活用されるよう町が行う特定健診受診者や介護予防教室参加者へのポイント付与など、地域の活性化へ繋がる活用を図る。

2 寄付採納について

◇函館市在住 鈴木 智恵 様
現金5万円

◇合同会社 ユーラス江差風力 代表社員
株式会社ユーラスエナジーホールディングス
職務執行者 佐々木 則彦 様
現金160万円

続いて教育長（代理：学校教育課長）が、行政報告しました。

1 江差小学校校舎への不法侵入について

8月25日（日）午後10時30分頃、25歳男性が正当な理由なく江差小学校校舎へ侵入し、校舎から出てきたところを張込みしていた江差警察署署員に現行犯逮捕された。

学校は児童生徒やそこで働く教職員にとって安全な場所、また、保護者にとって安心できる場所でなければならず、今後も引き続き、町内各学校と連携し、事件の再発防止と学校の安全対策の徹底に努めてまいりたい。

議長諸般の報告

総務産業常任委員会委員長の交代について

7月31日に開催された総務産業常任委員会において、小野寺議員より、体調不良による委員長辞任の申し出があり、委員会にて許可されたところ。

これにより新たな委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に「出崎議員」、副委員長に「塚本議員」が、互選された旨、通知があった。

9 一般質問 議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の☎、☎☎はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

問 洋上風力関連企業・施設の誘致を
答 関係機関と協議・検討していく

洋上風力事業は、道南の、次世代エネルギーの切り札として期待される。活性化の契機と捉え質問する。

1点目、江差港の優位性や高規格函館・江差自動車道の完成を視野に入れ、関連企業の誘致や、北海道が計画する、洋上風力発電所訓練施設の情報収集等を行い、誘致をすべきと考えるが如何か。

2点目、災害時等の非常用電源として活用を計画し提案すべきと考えるが如何か。

3点目、洋上風力事業については乙部町・厚沢部町等の理解の

と、近隣町と協調体制を組むべきと捉え見解を求める。

町長 1点目、江差港は優位性を活かし、誘致等を図るべく関係機関と協議・検討していく。高規格道路は、風力資器材の運送、物流基盤の強化確立が出来るよう、関係機関に要請を行う。また、発電所の保守管理要員の要請については、作業員等の地域人材の育成確保を図るべく北海道と連携し、検討を重ねる。

2点目、自立的に電源供給が可能となる地域マイクログリッドの構築を、検討していきたい。

3点目、法定協議会運営規定が制定され、厚沢部町、乙部町の他、今金町、奥尻町は協議会への参加と、発言が出来ることとなり、この規定により、協調体制が進められていると



飯田 隆一 議員

認識している。

再 景観の問題、健康被害の心配など、懸念を抱く町民が多い。

以前、水堀方面の田畑一帯に風車が設置され、当時は特別養護老人ホームもあった。健康被害の届け出などはあったか改めて伺う。

副町長 水堀の一番近い距離で、民家から3

00mの距離にあるが、事業者・役場への相談苦情はない状況。

再 乙部町はオブザーバー参加でなく、法定協議会の会員となり、一体的に洋上風力事業を進めてもらいたいと思うが如何か。

町長 前提として、乙部町はこの協議会には入らないというご意思

を発しており、江差町として隣町の意思をしっかりと考えるべきと思っている。

問 危険空き家解体の方針は
答 当事者間による解体が基本

町内に点在する特定空き家、特に茂尻町や南浜町の民家は、大変危険であり、町が主体的に指導し解体すべきと考えるが如何か。

町長 茂尻町の危険空き家は、所有者と連絡を取り、解体の意向を確認したが、その後本人からの連絡が途絶え現在に至る。南浜町は、建物を解体しないと回答された。危険な空き家は解体すべきと認識するが、個人の財産で相続関係もある事から、当事者間による、解体が基本であると考えて

いる。

再 最低限、近所や通行人に迷惑を掛けないような管理をする。解体に向けての年次計画を立て、町民に示す。そういう必要性があると思うが如何か。

財政課長 各計画において、解体計画を持っているが、解体には経費がかかる。毎年の予算要求では、必ず議論・検討してきたところ。当面は保安上の危険、衛生上の有害、景観の悪化、周辺環境への影響などの観点を抑え、日常的な維持管理を徹

底していく。

再 道内自治体において略式代執行で、危険な空き家を処分している事例もある。進めなければ、危険な状態は解決されない。

茂尻町空き家は、両方向に町道が通っており、人が多く通る道路である。もし通行人に危害を及ぼした場合、町が管理者として責任を負う場合があると思うが如何か。

総務課長 管理者ご本人との接触がまず第一と思っている。

略式代執行については、何らかの財源措置を得るといことになると、茂尻空き家以外町全体に所在する空き

家の実態を把握する必要がある。空き家に関する対策を計画としてまとめることで、一定程度国からの財源措置を得るとい制度もあり、情報を踏まえ、対応していく必要があると考えている。

建設水道課長 町道に隣接する危険空き家により、通行者、通行車両などが、被害を受けた場合の責任は、民法で規定されており、土地の工作物に設置、保存に瑕疵がある場合の責任は、所有者が負うものとされ、道路管理者の責任はないものと判断される。



石狩市の洋上風力

自由民主党

室井 正行

議員

問 茂尻川陣屋川の悪臭改善の検討を 答 横断的な連携を図り対応策を検討

茂尻川、陣屋川沿いに居住する地区住民から、夏場に悪臭がひどく、過去に役場で河川底のヘドロ撤去や、洗浄による対処をしたと聞いた。私も現地調査を2回実施したが、河川敷地と近距離で隣接する家屋が多く、その課題解決には問題点も多いが、そのまま放置も出来ない。

悪臭は、一つの要因で発生したとは考えられず、実態調査、対応策の検討に、かなりの人手が必要とされる。異常気象による河川の処理能力など、町管理の他10本の河川も、



室井 正行議員

防災上から、現地調査実施が必要と考える。総務課、まちづくり推進課がしっかりと連携し、検討する必要があると考える。答弁を求めた。

町長 悪臭の原因として、経年に渡る生活雑排水の流入による、蓄積されたヘドロと推測されるが、関係課が横断的な連携を図り、改めて現地調査や実態把握のうえで、対応策を検討する。

町管理河川は、河川維持管理の中で対応しており、今年度も、豊部内川の河床低下防止対策にかかる実施設計と一部、対策工事を予定している。

また、防災、減災に繋げるためには、河川管理の担当課のみならず、関係各課による現地状況の把握や、情報共有など意思疎通を図ることが重要であり、

連携強化を意識し、対応してまいりたい。

副 課題があることを認識して、一つのプログラムにのせていく。そういう姿勢が大事だと思ふ。質問通告書を出しているから、現地調査しているか。建設水道課に全部任せず、防災、まちづくりを進める為に連携して、一緒に見てもらいたいと思うが、答弁願う。

総務課長 8月30日に流域一帯を確認した。

その際、悪臭は感じなかったが、風の向きによっては、ちよっと臭いはすることを確認している。



茂尻川及び付近居住区域の外観

問 公営住宅用地の活用策検討を 答 課横断的な連携で継続的に検討

昭和30年代から40年代に建設された公営住宅は築50年、60年以上経過し、老朽化が相当進み、景観、周辺環境を阻害している。長寿命化の域を超えた具体的な取り組みの必要性を、強く痛感するが、見解を求めたい。

現在、江差町の管理戸数は約400戸。86棟で、全体平均入居率は66%となっている。今後、総合的に判断され、公営住宅用地の活用策の検討を、戦略的に今から行うべきと考えるが如何か。古いかから解体する、跡地の活用策検討を行っているないでは政策ではない。

公営住宅の入居基準に関する条例など一部見直し、江差町内に数少ない規模の大きい町有地の有効活用を図るため、民間を含めた検討、協議を早期に着手するべきと考えるので、所見を求めた。

町長

町営住宅の建物

状況は、16団地の内、11団地が、既に耐用年数を経過しており、町営住宅全体の約5割となっている。また、老朽化により、周辺環境や景観等に悪影響を与えていることは、町としても否めない。

町は公営住宅長寿命化計画を策定し、町営住宅の適切な維持管理に努めているが、長寿命化が不可能な建物は、用途廃止を進めたい。可能な限り計画的に解体、除却を進めてまいりたい。

国立社会保障・人口問題研究所の直近の推計値によれば、町の人口は20年後4,003人まで減少する。人口減少が進むと、町内には、町営住宅や町有地など、役割を終えた公的ストックが存在することとなるが、負の財産とせず、住民参加や官民連携により、有効活用につなげることは、今後重要になる。第6

次総合計画後期計画においては、取扱方針を改め各課横断的な連携体制によって、公的ストックのあらゆる施策での有効活用を、継続的に検討してまいりたい。

また、洋上風力発電推進の観点からも、本来の入居者対象者の入居を阻害せず、一定の条件のもと、許可を与える条例、規則等の見直しによる町営住宅の目的外使用や、町有施設の貸付、または売却による支援策の検討についても、引き続き追求してまいりたい。

副 普通財産となると、財政課で全部管理しなければならぬ。課の連携を取ることは大事であるが如何か。

副町長 行政財産から手が離れ、所管課が関係ないという状況は作らない。横断的に解体除去せず有効活用出来るかを、知恵を絞って進めていく。指示、連携含めて伝えていく。

無会派

塚本 つかもと

眞 まこと 議員

問 町のカスハラの実態や対応策は 答 対応記録把握と防止策を検討

カスタマーハラスメントが全国的な問題となってきたっており、一部報道でも出ていますが、国会議員が道・市職員に、過度な叱責を繰り返したという問題も発生している。

カスハラは職員の尊厳を傷つけ、職場環境を悪化させ、業務への支障や他の利用者へのサービスの低下を招く重大な問題と認識している。

江差町におけるカスハラの実態と、どのような対応・取り組みを行っているか伺う。

町長 町職員に対するカスハラの実態について



塚本 眞議員

では、相当数の課において、長時間に渡る居座りや電話、度重なる来庁や電話、庁舎内での大声や暴言、対応者の揚げ足取り、優位的な立場にいることを利用した暴言や特別扱いへの要求などに、対応していることを確認している。

今後、町ではカスハラに対応した際の記録を残し、その状況を定期的に集約することで詳細な実態の把握に努めると共に、国が策定した企業向けの対策マニュアルや、カスハラ

の対策方針を定めた札幌市の取り組みなども参考に、今後の予防と防止策を検討してまいりたい。

再 各種ハラスメントに対してしっかり対応しないと、職員がその能力を十分に発揮できる職場環境が保持出来ず、行政サービスの低

下もある。マニュアル等を作成し、職員をカスハラから守る対策を、速やかに実施する必要があると思うが、町長の考えを伺う。

総務課長 先程ご答弁申し上げたとおり、江差町におけるハラスメントの実態を確実に把握していく。そして、その実態や傾向を基にどのような対策を講ずることが、一番の確な対応策になるかということ踏まえながら、対策を講じてまいりたいと考えている。



無会派

大門 だいもん

和幸 かずゆき 議員

問 観光施設へ防犯カメラ設置を 答 現段階では考えていない

観光客が安心して訪れることのできる環境を整えることは、今後の観光振興にも直結する重要な課題である。

犯罪防止策として防犯カメラ設置は、その一助となり、地域全体の安全・安心を確保する重要な施策と考え、拡充を検討すべきと考えているが如何か。

また、町内の防犯カメラの状況も伺う。

町長 防犯カメラの設置の意義は2つあると考え、1つ目には犯罪の抑止、2つ目に犯罪や事故発生時の証拠。この内、犯罪抑止は、行政が担う役割の1つ



大門 和幸議員

であることは認識しているが、それ以外にも取り得る手段があると

問 庁舎内エアコン設置の検討を 答 施設も含め優先順位を勘案し検討

考えており、防犯カメラの設置は現段階では考えていない。その上で、各関係機関と連携し安心安全な観光地づくりに取り組んでいく。施設防犯カメラ設置は、エコーに2基設置している。

近年は気温上昇が顕著であり、庁舎内の温度管理の重要性が高まっている。現時点で、庁舎内はエアコンが未設置で、十分な空調設備も整っていない。作業環境が悪化し、職員の健康面や業務効率に悪影響が出るのではないかと懸念しており、行政サービスの質の向上のために、環境整備は重要だと考える。

エアコン設置や暑さ対策を検討しているか伺う。

町長 冷房設備の無い庁舎に来庁される皆様に対し、ご不快な思いをさせ申し訳なく思っている。

防災拠点の側面も含



夏季期間の庁舎内扇風機使用の様子

め、庁舎内エアコン設置は必要性を認識するが、設置は多額の費用を要する。当面の暑さ対策として、換気や扇風機、遮光の他、クールビズの励行などにより対応してまいりたい。

他施設も含め優先順位を勘案し、少し時間を頂き、総合的に検討するのでご理解願う。

定例会

議案審議

行政報告

一般質問

臨時会

委員会

無党派

出崎 徳之助

太郎 議員

問 拠点施設2階屋上へ避難場所設置を 答 2階屋上避難の可能性も検討する

北の江の島構想拠点施設は海域に近い位置に計画され、子どもの遊び場を伴うだけに、津波発生時の安全性について議論されてきた。計画施設は2階建てとされ、以下の2点について見解を伺う。

1つ目。津波基準水位、GL+5mを念頭に、1階屋上に避難できる場所を設置する計画だが、より高い2階屋上への避難可能な構造とできないか。



出崎 太郎議員

高所避難を優先に避難訓練を積み重ねるべきと考えるが如何か。

町長 建設予定地は津波による人的災害を防止するために、警戒避難体制を特に整備すべき区域となっている。基準水位が3m以上5m未満となっており、建物の高さを検討した上で、避難場所は、1階屋上を想定しているが、2階屋上避難の可能性も検討してまいりたい。

江差港で想定される最大クラスの津波での浸水想定では、影響開始が地震発生から3分、第一波到達が地震発生から7分となっており、人命を守ることを最優先に、1階屋上への垂直避難を考える必要がある。

一方で地震や津波の規模状況によっては、指定避難場所への誘導を行うなど対策が、必

要になる事も想定される。地震・津波の発生時に迅速に対応出来るよう、施設独自に避難対応マニュアルを作成すると共に、様々なケースを想定した避難訓練についても、実施してまいりたい。

問 協議会で渡島被災時の支援協議を 答 別な会議の場で協議を進めていく

私は津波発生時、水平避難を基本に考える。到達まで長時間ではないが、避難訓練を

先の議会全員協議会で釣りモデル事業に採

択されたと報告があり、その際設置予定の仮称江差港みなとまちづくり協議会では、釣りのみでなく、広く港の活用について協議するとの説明があった。

能登半島地震の教訓として想定されている日本海溝・千島海溝地震の津波で、函館を含む太平洋側が被災した時、日本海側江差港からの支援が不可欠と考える。協議会で、渡島半島被災時の江差港の支援機能整備について、

は、避難訓練を通じて島に逃げるのか、町の方へ逃げるのか訓練時に是非探って欲しいと思う。

町長 大規模災害発生時においては、災害支援物資等の受け入れ、搬送拠点として、港湾が有効な施設になり得ることは十分承知している。

防災機能を含めた、総合的な港湾の利活用に関する協議については、江差町港湾審議会など、この度設置する協議会とは別の会議の場で協議を進めていくことになるため、ご理解願う。

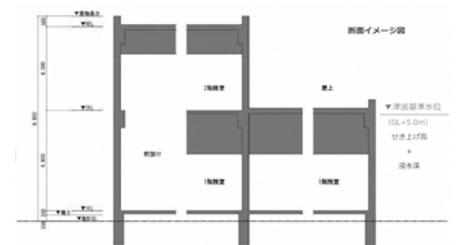
町長 釣りモデル事業や洋上風力事業など、港

1階の屋上への垂直避難が軸になると考えるが、津波や地震に関しては、様々なケースが想定され、的確な避難誘導を行う事が出来るよう、避難訓練も実施してまいりたいと考えている。

町長 港だけではなく、一体的に道路、港湾、空港など公共交通の拠点というのを、しっかりと整備していく必要があると思う。

町長 港だけではなく、一体的に道路、港湾、空港など公共交通の拠点というのを、しっかりと整備していく必要があると思う。

町長 港だけではなく、一体的に道路、港湾、空港など公共交通の拠点というのを、しっかりと整備していく必要があると思う。



建設予定の拠点施設断面イメージ図

問 道南サミット江差研修会の成果は

答 Eスクール エコチャへの展開

オープン前にエコの活用について考えようと、道南の地域おこし関係者でつくる団体道南サミットが江差で研修会を開いたとの新聞記事を読んだ。

グループ発表でどんな意見や提案があり、その中で活かされたもの、これから活かすべき提案はあったか。

その後、集まり議論するとの事だが集会は開催されたか。

それとは別に、オープン以降の利用者数の把握や、子どもの利用に関し、氏名・学年等の確認しているか。子ども同士の最低限の決



小梅 洋子議員

め事は必要と思うが如何か。

町長 研修会での主な意見として、活用に関しては、子ども達の学び、チャレンジを応援する場としての活用の他、様々な意見があった。また、運営に関しては、民間の力の活用、他、中学生が運営に参加してはどうかといった意見もあった。

道南サミットの主要メンバーとはその後、まちづくり推進課においてオンライン上で、研修会の振り返りや意見交換の機会を設けている。こうした人的な繋がりの中から、Eスクールエコチャという事業を実施しており、これは中高生や若者をターゲットに、道南地域で活躍するゲストから、お話を伺うもの。エコの施設利用者数については、8月末で延べ2,700人。

問 各課をまたいだBASE体制を 人的な配置の必要性もあり検討

江差BASEプラス1は、高齢化社会の中で地域の助け合い活動を行う拠点として、桧山ハイヤービル内に誕生し、高齢あんしん課コーディネーター対応で活用されたが、今はエコに移っている。

これからのあり方を考え、福祉拠点としての機能を整備し、様々な悩みを抱える全ての相談者に対し、困りごと何でも言える町の窓口になればと願う。高齢あんしん課のみならず、健康推進、町民福祉、学校教育と幅広く、繋がった活用が図られればと思うが如何か。

町長 今年6月にエコへ拠点を移し、同様のメニューを行っているところだが、中には個別で生活支援コーディネーターに困りごと等の相談をしている実態もある。ネクストイノベーションや、地域支え合い協議体等、町民の皆様と共に話し

合い解決策を考え、支えられる拠点を目指し取り組んでいる。地域の課題から、今後想定される相談内容は、1つの課だけの対応では困難であり、役場内の複数の課が共同で取り組むことが、公約として掲げている不幸ゼロへの取り組みにも繋がると考える。

多様な世代の方が、悩みや心配事を話すことが出来る拠点づくりを目指し、人的な配置の必要性もあり、検討したいと考えている。

再 昨年度の江差BASEプラス1の利用人数と、今年度エコに移動後最新の利用人数を教えてください。

今後考えているメニューがあれば教えてください。その中で、相談しやすい工夫など必要と思うので、併せて質問する。

開設し約1,284人の方が利用された。今年度最新7月は17日間開設し、利用人数は延べ124人の方が利用されている。



拠点メニューで定期的なもの、ICT教室、フマネットと運動等があり、合わせて看護師やケアマネ等の専門職を配置し、健康相談や介護相談を実施している。行政の役割として、相談しやすい体制を構築する一方、多様な方々が行きかう建物のため、福祉や介護の分野だけでなく、生活支援コーディネーターを中心に、様々な分野と結び付き、人材発掘に努めながら、今後のメニューを考案する。

高齢あんしん課長 前年度の江差BASEプラス1は年間241日

基本的な片づけは、利用する子ども達にお願いしているが、利用後の掃除は、管理人、業務委託事業者が清掃業務を行っている。

まちづくり推進課長

木造の建物だが、2階も含め床の掃除はどうなっているか。



コミュニティプラザえさし外観

無党派

西海谷 望 議員

問 ふるさと納税寄附金増額の検討は
答 返礼品広告宣伝の継続拡充を図る

8月2日に総務省から道南の各自治体2023年度ふるさと納税寄附金額が発表され、江差町は前年対比約70%増と大きく増額した。

返礼品業者を始め、町担当者は大変頑張っており、今後も期待しているが、寄附額上位の自治体と比べると、返礼品の充実について工夫が必要と考える。更なる増額を目指すため、どのような検討を進めているか伺う。



西海谷 望 議員

円となり、このうち、珠洲市への災害支援分を除くと寄附額で7,599万3千円の増、率では58・5%増となった。

江差町としては、地域特産品推進員を配置し、事業者訪問などを通じて、新たな返礼品事業者の掘り起こし、返礼品拡大に取り組みなど連携を強化した。

更に、寄附の募集を行うポータルサイトの増加、広告枠などを活用しながら、江差町の返礼品がより目に入りやすいようにするなど、広告宣伝に力を入れてきた。

引き続き、これらの取り組みの継続拡充を図りながら、ふるさと納税増額に向けて取り組んでまいりたい。

再 リピーターを増やすことはこれからも大切であり、どうフォローをしているか。



ふるさと応援寄附金 HP

江差を応援してくれる方々が、ふるさと納税でまちづくりに参加協力することができる、ガバメントクラウドファンディング制度の活用を視野に入れ、増額を目指しては如何か。

まちづくり推進課長
リピーターのフォローを重要と考え、お礼状の対応に加え、様々なコメントを踏まえ、対応している。

問 江差港長期構想計画見直し検討は
答 然るべき段階で見直しを進める

江差港整備については、平成14年に策定した江差港長期構想計画に基づいて整備されている。現在、新北、北ふ頭・中央ふ頭・南ふ頭それぞれの機能を、目的に沿って使用されている。長期構想計画後、20年以上を経過する中、江差港全体としての港湾機能の多様化が求められている。改めて長期構想計画の見直しが必要と考えるが、江差町港湾審議会、また関係機関とどのような協議、検討をされているか伺う。

問 北の江の島拠点計画
答 北の江の島拠点計画の進捗について

北の江の島拠点では、北の江の島拠点施設整備基本計画や風力発電事業に係る港湾利用状況など、都度港湾に係る事業などを議題にのせ、協議を進めているところであり、北海道開発局や江差港湾事務所などの関係機関とも常に情報の共有を図っている。

長期的な事業計画も動き出している状況にあり、情報収集に努め、然るべき段階で江差港長期構想計画の見直しが進められるよう進めてまいりたい。

再 南ふ頭の生活観光エリアについては、国道からかもめ島へ通じる動線である。早期に整備し、北の江の島構想を推進していただきたいと思っている。

先程の説明では、審議会等でテーブルに上げていると言っていたが、どのような要望や問題点があったのか。

産業振興課長 北の江の島拠点施設整備計画



「北の江の島拠点計画」動線計画図

や洋上風力の内容についても、審議会や協議、情報共有を進めているが、この長期構想計画については、別の委員会を設置し、北海道開発局や専門的知識を要する方も参加し協議していくこととなる。

北海道開発局、港湾事務所と情報共有を図る中で、担当者とも長期計画の見直しを進めていくタイミングを相談しているが、洋上風力、北の江の島構想の具体的な中身が固まった時点でなければ、詰めた協議が出来ない。然るべきタイミングで、協議を進めていきたいと考えており、ご理解願いたい。

無会派

増永 一彦

まさなが かずひこ

議員

問 幼少期英語教育進捗状況は
答 江差幼稚園で英語教室実施

保育園・幼稚園児からの英語教育について、改めてどう人材確保に努めたのか。

小学校低学年英語教育に対しては如何か。

町長 A L Tが、学校の長期休業中に各保育園に出向き、英語教室を実施している。

社会教育課長

A L T

日程の確保の課題から、小学校低学年の授業化には至れず。一方で、学校の長期休業中の日程を利用し、今年度から新たに江差幼稚園への訪問を実施し、取組拡大を図った。

問 砂浜キャンプ禁止の理由は
答 漁業区域で従来より禁止

黙認していた、かもめ島の砂浜と駐車場のキャンプが何故今年から厳しくなったのか。

町長 漁業区域や管理上、浜は従来より禁止区域で、黙認の認識もない。

再 遊歩道の荷物用通

路は、カートを運ぶのに幅が足りず、脱輪してカートを壊した利用者もいた。荷物を上げ下げする方法を、検討出来ないか。

脱衣場は皿が無く、シャワー室はお湯が出る様、検討頂きたいが如何か。

副町長 手ぶらでキャンプを含めP Rに努め、意見はみらい機構にも伝える。

脱衣所の皿は検討する。シャワーについては拠点施設状況もあり、前向きに検討する。

問 追加工事の町長の責任は
答 整理がついた段階で説明

Eコーの自動火災報知設備追加工事について、町長はどう責任を感じているのか伺う。

を強く感じている。今後、同様のことが起きない様、法令の遵守、不適正事務防止等、職員と共に取り組む。整理がついた段階で

問 防災スピーカーの進捗状況は
答 本年12月末に設計終了予定

防災スピーカーの整備進捗状況を伺う。

町長 令和6年度は実施設計で終了は本年12月末を予定。

再 檜山は江差と厚沢部が未整備団体。消防庁は各団体に、来年度

中の運用をお願いしたいとの事だが如何か。

総務課長 来年度予算提出させて頂く考え。早い運用が望ましいが、令和8年度の運用開始と認識している。

問 拠点施設中止延期の考えは
答 事業中止延期の考えはない

北の江の島事業の中止、2年延期はしない考えは変わりないか。

町長 現時点で中止、延期する考えはない。

再 人口がこれだけ減っていることは、町長の10年間の政策失敗が今ここにきている。拠点施設の財源をどこから持つて来るのか。

町長 反問権の使用許可願う。

議長 許可する。

反問権 議員は10年間の私の町政を失敗だと言った。具体的にお示し頂いた上で答弁をさせて頂く。

増永議員 例えば保育料は、江差町が有料で他町村は無料。言い出せば沢山出てくる。

町長 人口減少が管内他町と比較し、大きく江差町が減るとい

改めて説明をさせて頂きたい。
再 150万の損害に對し、対応をどう考えているのか伺う。

問 Eコー貸館の利用状況は
答 開業以降貸館利用は98件

Eコー施設内貸館の無料・有料の利用状況を伺う。

町長 貸館対応は合計で98件、内有料貸館が7件となっている。

再 基本計画の中では、収入は一切載っていないが、内閣府の交付事業の申請書には収入が載っている理由について、答弁願う。

まちづくり推進課長

作成されたのは、基本計画書が先で、その段階で収入数字は作成されていない。

再 基本設計書には支出は載り、収入がないのは、収入を隠す必要があるからでは。

副町長 町として数字を隠す必要はない。

知恵、活力を施設整備に入れていくようにする。調査事業として進め、間もなく完成品が出てくる。効果を最大限発揮できるように施設運営にと考えている。



増永 一彦議員



北の江の島拠点かもめ島外観

日本共産党

おのでもら まこと
小野寺 真 議員

**問 主要避難所以外の避難・備品体制を
災害の対応に応じ避難所開設は必要**

江差町の主要避難所は10か所。大規模災害の時には、他の避難所開設も必要であり、それらも含めた備蓄計画を考えるべきだと思う。厳冬期の災害で10か所以外避難所を設置する場合、毛布・ストープ等備蓄数が足りないと考えるが。

現時点で、一か所の集中備蓄である。北部、南部の集会所を避難所開設した場合、道路の寸断等ある中、運搬出来るのか。分散備蓄の検討が必要では。

町長 備蓄計画では、行政備蓄の対象人数を1,124人に設定し、



小野寺 真議員

にご協力頂き分散備蓄している。

再 災害の時、女性や障がい者、高齢者等の必要な支援、物が足りないという情報で取り上げられている。何か必要か計画の中で整備すべきではないか。

総務課長 能登半島地震の経験で、不足している物もあり、情報を整理する必要がある。



江差町防災備蓄センター(旧税務署)

**問 避難路の箇所数・整備状況は
15箇所あるが整備していない**

津波避難の階段の整備について、傷んでいる、街灯がない、そういう声も出ている。改めて避難路の箇所数、整備の状況などを教えていただきたい。

避難誘導の案内板について、改めて基本的な整備がどのようになっているのか。

町長 津波避難経路は、椴川町から伏木戸町にかけて15か所ある。津波用の避難路として整備したものでは無く、管理用階段や地域で高台に続く通路、町道などを避難路に位置付け

ている。

避難誘導の案内標識については、避難路の入り口に津波避難通路、避難方向を示す矢印、海拔高を示す標識を設置している。

再 避難路の灯りがそもそも無く、灯りが必要、停電の時、停電時自動点灯の導入も検討するべきだと思うが。

案内標識については、そこに住んで居ない方が避難する際、避難路がどこにあるのか分からない。何m先に避難路があるなど、見れば分かるような中継看板

が必要と考えるが。

冬場の避難路の場所がそもそも雪で埋まったり、分からなかった。除雪対策や体制をどう。

総務課長 現在の避難路には街灯の設置は無く、夜間を想定した場合は、街灯が必要という認識がある。

案内標識については、実態を踏まえ検討をする必要がある。

冬場の避難路の除雪についてはご指摘頂いたとおり、全く出来ない状況である。

**問 高齢者や障がい者の避難対策万全か
個別避難計画策定数の増加に努める**

江差町の避難行動要支援者は、直近の数字で何人いるのか。個別避難計画について、現在の進捗状況は。

土砂災害警戒区域の中に施設があり、入居者がいる。夜間は人手が足りない中、どう避難するかで、夜間の訓

練も計画になっているが、江差町内の施設の状況を伺う。

町長 避難行動要支援者数は238人。内個別避難計画作成の同意者は155人となっている。個別計画の作成状況は現時点で4件。今年度は50名分の個別

避難計画の作成をする予算に対し、策定戸数が低調により改めて策定数の増加に努める。

昨年度は全ての施設で日中の防災訓練を実施しているが、夜間訓練は未実施である。

再 避難行動要支援者の数字について他と比べると少ないため、対象を広げるように検討して頂きたい。

一人暮らしや体が弱い要配慮者の避難訓練について、町が町内会等と力を合わせ進めるべきと思うが如何か。

総務課長 計画作成対象者の内50名弱は、支援を求めている方を対象としている。対象者となる方、希望する方の吸い上げを進める。

2点目、事業所や町内会、ご近所等のご支援

ご協力を頂き、避難が達成できる。防災に対する地域への意識付けを進める。

再 町の担当が防災計画を推進していく仕組みを作る必要を感じるが如何か。

副町長 整理整頓し、前向きな体制を組んでいかなければならないと思っている。

臨時会

7月26日に第4回臨時会が行なわれ、一般会計の補正予算などについて審議し、原案どおり可決、閉会しました。

【第4回臨時会】

◎補正予算

◇開陽丸青少年センター補助金

(開陽丸記念館展示リニューアル基本設計業務委託分)

451万円

◇開陽丸青少年センター補助金

(開陽丸記念館外装改修基本設計業務委託分)

1,133万円



陣屋町小平沢地区のテレビ難視聴地域

◇陣屋町「小平沢地区」テレビ難視聴対策

539万4千円

◇選挙管理事務

300万円

◇令和6年度低所得世帯価格高騰支援給付金事業

1,811万円

◇定額減税調整給付金事業

4,905万8千円

◇江差町日本遺産魅力増進・発信事業資金貸付

1,900万円

◎報告

◇令和5年度江差町一般会計繰越明許費繰越計算書の訂正について

・令和6年第2回定例会に提出した令和5年度江差町一般会計繰越明許費繰越計算書の訂正報告。

◎行政報告《寄附採納》

◇河西郡芽室町在住

鈴木 勝彦 様

○現金10万円

全員協議会を開催しました！

7月4日に第6回、8月21日に第7回全員協議会が開催され、議員に対し理事者側から下記の内容について説明がありました。

● 第6回全員協議会（7月4日）

- ・開陽丸記念館フォアマストの劣化状況と今後の対応について
- ・北の江の島拠点施設整備に係る民間活力導入調査及び基本設計業務について
- ・水堀・日明保育園の統合について
- ・江差町内における陸上風力発電事業計画について
- ・姥神大神宮渡御祭商標権に伴う「商標使用再許諾契約」について

● 第7回全員協議会（8月21日）

- ・水堀・日明保育園の統合について
- ・釣り文化振興モデル港の指定について



第6回全員協議会の様子



新しい統合保育園となる院内保育所外観

議会ホームページをご覧ください

定例会の日程、審議内容の他、平成24年度以降の会議録を閲覧することができます。議会だよりへの掲載は、紙面の都合上、一部省略しております。詳しくはHPにてご確認願います。

(議会HPアドレス)

<https://www.hokkaido-esashi.jp/gikai/gikai.html>



みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は**12月**です。

日程は、町広報紙やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

継続調査中！

総務産業常任委員会

『地域公共交通に関する事務調査』

社会文教常任委員会

『少子化における学校教育に関する事務調査』

研修会に参加しました！

議員活動のスキルアップや調査研究のため、北海道町村議会議長会及び道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会などが主催する各種研修会に参加してきました。



北海道町村議会議員研修会

- 1 開催月日：7月2日
- 2 開催場所：札幌市
- 3 出席議員：6名
萩原議長、塚本副議長
飯田議員、小梅議員
出崎議員、大門議員



道南林活議連 令和6年度現地研修会

- 1 開催月日：8月9日
- 2 開催場所：知内町
- 3 出席議員：2名
塚本副議長、出崎議員



議会広報研修会

- 1 開催月日：8月20日
- 2 開催場所：札幌市
- 3 出席議員：3名
出崎議員、大門議員
西海谷議員

清掃活動をおこないました ～江差町議会議員会～



第60回記念江差追分全国大会を前に、9月17日、江差町議会議員会（塚本 眞会長）が、かもめ島えびす浜の清掃活動をおこないました。

江差町を訪れる観光客や追分関係者の皆さんが、気持ちよく江差で過ごして頂きたいとの思いから、実施を始め、今回で6回目となりました。（町長、教育長にもご参加いただきました。）

議会インターネット配信始まる!!

町民の皆様にとってより身近で開かれた議会を目指すため、動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）によるライブ配信及び録画映像配信が始まりました。

ご視聴の方法や注意事項は、下記に記載しておりますので、ご確認ください。

今後の定例会・臨時会の開催時期については、江差町議会ホームページでお知らせします。

1 スマートフォン・タブレットをお持ちの方

- ① 右のQRコードを読み取る。
- ② メニュー「動画」から、視聴したい動画を選びタップする。



2 QRコードが読み取れない・パソコンをお持ちの方

- ① 動画配信サイト YouTube（ユーチューブ）を検索し、サイトに入る。
- ② サイト内上部にある検索画面で「江差町議会」と入力し検索する。
- ③ 視聴したい動画を選びクリックする。



視聴にあたってのご注意

- ・スマートフォンやタブレット等の端末によるご視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合がありますのでご注意ください。（当町議会では一切責任を負えません）。
- ・配信している映像の著作権は、当町議会に帰属します。配信画面や内容を許可なく他のウェブサイトや著作物などに転載しないでください。また、著作権法で許された範囲を超えて複製する場合でも、その複製物を目的外に使用したり、内容を改変しないでください。

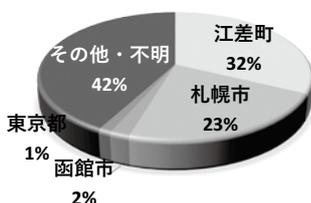
※その他ご視聴にあたっては、同チャンネルの概要欄に記載の「免責事項」に同意の上、ご視聴ください。

9月30日13時現在 第3回定例会視聴状況調べ

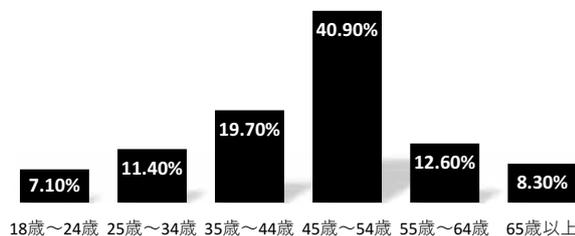
1	江差町議会チャンネルの登録者数	91名
2	第3回定例会の視聴回数	1205回視聴
3	第3回定例会を一度に視聴した最大人数	66名

※以下の数値等については、google アカウントに登録しているデータにより、視聴者の生年月日（年齢）や性別、住む地域等を参照していますので、あくまで参考値としてご覧ください。
google アカウントをお持ちでない方が YouTube をご視聴された場合は、以下に含まれていません。

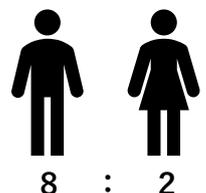
○視聴している地域



○視聴年齢層



○視聴男女比率



出欠状況をお知らせします！

令和6年7月1日から9月30日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会					社会文教常任委員会					議長	
		委員長 小野寺 真	副委員長 出崎 太郎	委員 打越東亜夫	委員 増永 一彦	委員 塚本 眞	委員長 大門 和幸	副委員長 西海谷 望	委員 飯田 隆一	委員 室井 正行	委員 小梅 洋子		委員 田畑 豊利
第3回定例会	9月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●①	○
第4回臨時会	7月26日	○	○	●①	○	○	○	○	○	○	○	●④	○
第6回全員協議会	7月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7回全員協議会	8月21日	○	○	●⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	7月31日	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/	/
社会文教常任委員会	9月25日	/	/	/	/	/	○	○	○	○	○	●①	/
議会広報特別委員会	7月12日	/	○	/	○	/	○	○	/	/	/	○	/
	7月22日	/	○	/	○	/	○	○	/	/	/	○	/
議会運営委員会	7月26日	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○
	8月21日	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○
	8月30日	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○
	9月27日	●①	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（中の数字：1 傷病・2 出産・3 育児・4 看護・5 介護・6 私用）

議会の動き

- 7月2日 ◆北海道町村議会議員研修会（7名出席）
- 7月4日 ◆第6回全員協議会
- 7月8日 ◆檜山広域行政組合議会運営委員会（小野寺議員）
- ◆檜山広域行政組合議会臨時会（小野寺議員、出崎議員）
- 7月10日 ◆島根県議会行政視察来庁（議長）
- 7月12日 ◆議会広報特別委員会
- 7月22日 ◆議会広報特別委員会
- 7月26日 ◆議会運営委員会 ◆第4回臨時会
- 7月31日 ◆総務産業常任委員会
- 8月7日 ◆全道林活議連連絡会令和6年度定期総会（塚本議員）
- 8月9日 ◆令和6年度道南林活議連研修会（塚本議員）
- 8月20日 ◆全道町村議会広報研修会（3名出席）
- 8月21日 ◆議会運営委員会 ◆第7回全員協議会
- 8月22日 ◆檜山町村議会議長会定例議長会議
- 8月30日 ◆議会運営委員会
- 9月11日 ◆第3回定例会
- 9月17日 ◆江差町議会議員会海浜清掃（10名参加）
- 9月18日 ◆佐之市法要（議長）
- 9月22日 ◆江差追分全国大会決戦会（議長）
- 9月25日 ◆社会文教常任委員会
- 9月27日 ◆議会運営委員会

島根県議会が行政視察で来町

7月10日、「江差町における公共交通の現状と江差マースの取組について」をテーマに、島根県議会より県議員及び職員総勢12名で来町されました。

町まちづくり推進課説明の後、エコーを見学していきました。



今号の表紙

☆ かつこよくダンスきまったね！

9月29日（日）、江差町産業まつりで町立保育園の子どもたちが素晴らしいダンスを披露してくれました。

元気な姿と一生懸命な演技に観客から温かい拍手が送られました。

最後の「キメポーズ」に子どもたちの未来への希望を感じました。



（撮影者：西海谷 望 議会広報特別委員会委員）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に道産間伐材を使用しています